

公開している CSV ファイルの開き方

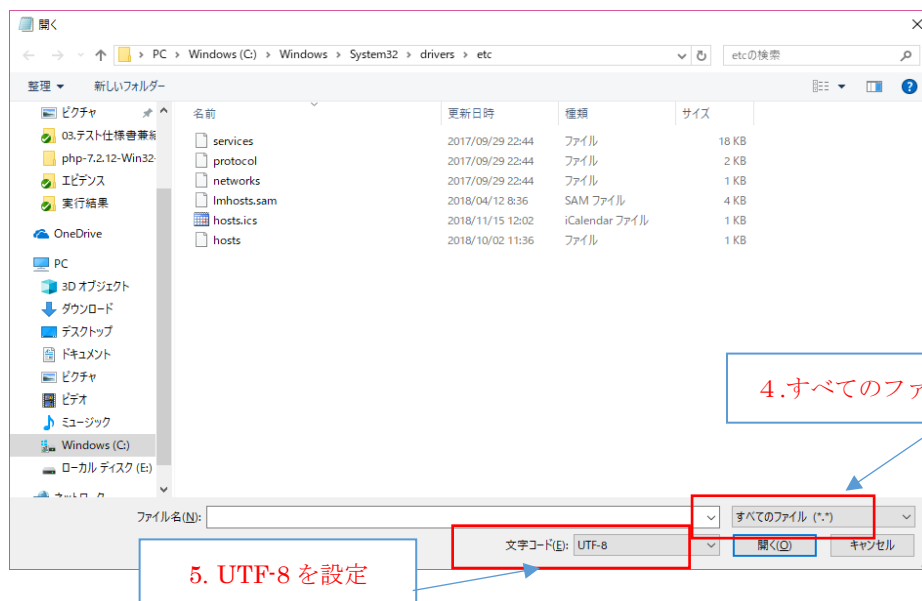
港区で公開しているオープンデータは、国内国外（日本語環境以外を意味します）での利用者や、Microsoft 社 Windows シリーズや Apple 社の Mac OS 等のオペレーティングシステム(OS)等利用者の環境に依らず広く利用されることを考慮し、国際的な規格である文字コード「UTF-8」を採用しています。

ただし、いわゆる Windows 環境では、そのまま Microsoft 社の Excel 等で開いた場合は正しく表示されませんので、以下に Windows 環境での UTF-8 ファイルの開き方の例を記載します。

（なお、港区オープンデータカタログサイト (<https://opendata.city.minato.tokyo.jp>) では文字化けせずに表示されます）

1 Windows のメモ帳で UTF-8 ファイルを開く

- (1) 「メモ帳」を起動します。[スタート] ボタン→ [Windows アクセサリ] → [メモ帳] の順にクリックするか、タスクバーにある検索バーで「メモ帳」と検索
- (2) 「メモ帳」が起動したら、メニューバーの [ファイル(F)] → [開く(O)] をクリックします。
- (3) 「開く」画面が表示されたら、目的の CSV ファイルがあるフォルダを開きます。
- (4) 「開く」画面右下で” すべてのファイル (*.*)” を選択することにより対象の CSV ファイルが表示されますので、選択します。
- (5) ” 文字コード(E)” 欄に [UTF-8] を設定して、[開く(O)] ボタンをクリックします。



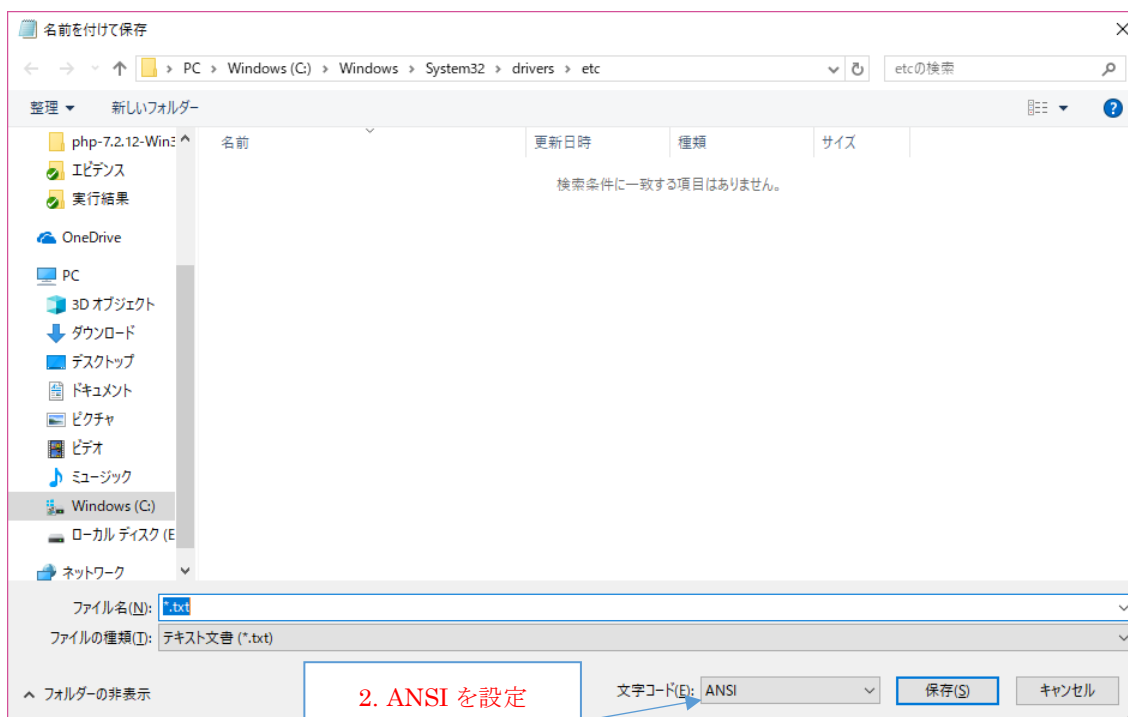
2 UTF-8 以外の文字コードへ変換する

CSV ファイルを Excel で開くための方法として、文字コードを「Shift-JIS」へ変換する方法ご案内します。

まず、「Windows のメモ帳で UTF-8 ファイルを開く」の手順で対象のファイルをメモ帳で開きます。

(1) メニューバーの【ファイル(F)】 → 【名前を付けて保存(A)】 をクリックします。

(2) ”文字コード(E)” 欄に【ANSI】を設定して、【保存(S)】 ボタンをクリックします。



(3) こちらの 방법으로保存したファイルは、Excel で開くことが可能です。